



POINT

GUIDE LINE

目次

本ガイドラインについて

1 Vポイントロゴ 使用規定

Vポイントロゴとロゴカラー	5
保護エリアと最小使用サイズ	6
表示パターン	7
背景色との関係	8
Vポイントロゴの禁止事項	10
正式なサービス名称表記	11
ポイント数の表記	12

2 用語規定

Vポイント 用語規定	15
------------	----

3 制作表現規定

ブランドカラー	20
推奨フォント	21
シンボルのグラフィック表現	22
Vキューブのデザイン表現	23
Vメダルのデザイン表現	24
Vキューブ・Vメダルの動画表現	25
制作表現の禁止事項	26
モバイルVカード表現規定	28
CM用Vポイントロゴ使用規定	29

本ガイドラインについて

本ガイドラインは、Vポイントが魅力的なブランドとして世の中に広く定着することを目的として、Vポイント自体やVポイント提携企業が発信するメッセージを統一かつ効果的に表現することを規定したものです。

Vポイントの利用者数、Vポイント提携企業数の拡大や関連サービスの拡充により、Vポイントのロゴや表記は、多種多様な制作物において使用されています。正しい規定に基づきロゴを使用することで、Vポイントの終始一貫したブランドイメージを伝えることができるだけでなく、生活者に提供する価値や信頼を訴求することができます。

本ガイドラインは、より魅力的なブランドイメージを構築していくために、制作物を中心とした顧客接点での基本的な規定を示したもので、創造的な発想や展開を規制するものではありません。Vポイントのロゴ使用方法およびブランドイメージに即した表現の、正しい理解の一助となり、Vポイントのブランド価値向上につながるよう有効に活用いただけますと幸いです。

ロゴデータは本ガイドラインのマスターデータを使用してください。データは加工することを禁止します。

Vポイント使用条件

- ① Vポイントの告知物であり、対象となる告知物等の企画・制作の主体企業が、CCCMKホールディングス、三井住友カードまたはVポイントプログラム契約及び二次代理店契約、Vポイント取組み（実験）に関する覚書等を結んでいる企業である
- ② 必ずロゴもしくはテキスト表記のいずれかを同一面上に配置すること。
デジタル媒体の場合は、必ずロゴもしくはテキスト表記のいずれかを同一領域内に配置すること。
- ③ CCCMKホールディングスまたは三井住友カードが主体となり、「Vポイント」のブランド価値・ブランドイメージの向上を目的とした各種イベント、サービス、グッズ等での表現

例：Vポイント×ENEOS ゴルフトーナメントトロフィー、Vポイント オリジナルグッズ等

※ 条件に適合しないと判断した場合は、使用できない可能性があります。あらかじめご了承ください。

1 Vポイントロゴ 使用規定

Vポイントロゴとロゴカラー

保護エリアと最小使用サイズ

表示パターン

背景色との関係

Vポイントロゴの禁止事項

正式なサービス名称表記

ポイント数の表記

Vポイントロゴとロゴカラー

Vポイントロゴ

■ 縦ロゴ









■ 横ロゴ



カラー指定

印刷媒体

PANTONE	DIC	CMYK
 PANTONE Reflex Blue C	 DIC F43	C100% M80%
 PANTONE 102 C	 DIC 2539	Y90%
 BLACK	 BLACK	K100%

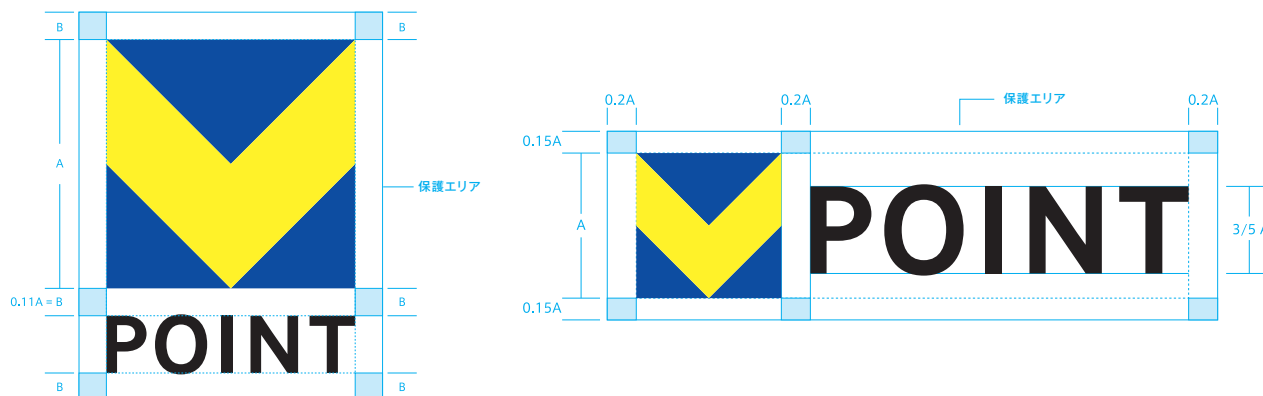
デジタル媒体（Web・映像など）

RGB	HEX
R0 G64 B152	#004098
R255 G242 B0	#FFF200
R0 G0 B0	#000000

保護エリアと最小使用サイズ

保護エリア

Vポイントロゴを使用する際、原則として以下のように最小限の保護エリアをもうけ、デザイン要素や文言はできる限り表示しないでください。



最小使用サイズ

ロゴの視認性・可読性確保のため、最小使用サイズ以上を保持してください。

■ 印刷媒体でのロゴ最小使用サイズ

Vロゴの高さ 5mm

5mm



Vロゴの高さ 4mm

4mm



■ デジタル媒体（Web・映像など）でのロゴ最小使用サイズ

Vロゴの高さ 30px

30px



Vロゴの高さ 15px

15px



※他社ポイントと横並びでロゴを配置する際は、最小使用サイズ以下のVポイントロゴを使用することができます。

※最小使用サイズ規定を守れない場合に限り、「POINT」の文字がないVロゴで代用することができます。 

表示パターン

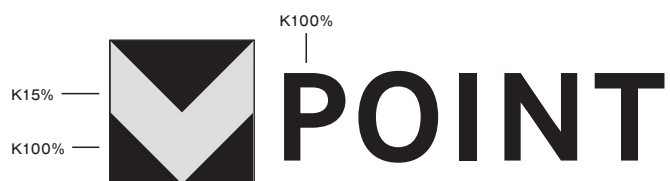
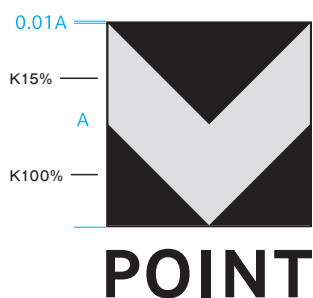
カラーロゴ

限られた色数で表現する時以外は、必ず「カラーロゴ」を使用してください。



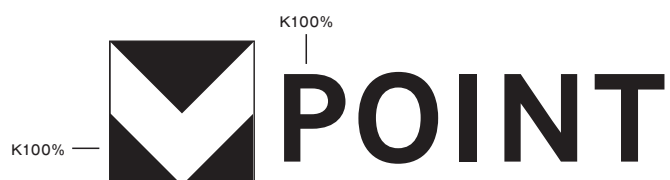
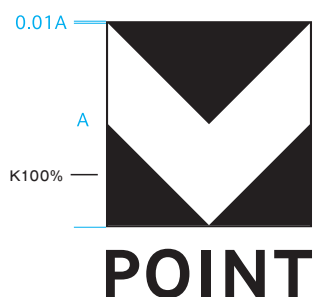
グレースケールロゴ

背景色が白で1色表現のときは、このグレースケールロゴを使用してください。



単色ロゴ

限られた色数で表現するときは、この単色ロゴを使用してください。



背景色との関係

推奨背景色

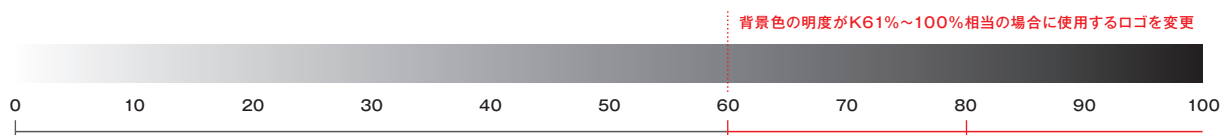
ブランドイメージを正しく伝達するための推奨背景色は「白」です。



推奨背景色以外での表現

背景色によりロゴの視認性がそこなわれる場合、下記のように白枠・白抜き文字のロゴを使用します。
数値の指定は目安です。実際の使用状況下での見え方を優先し、ロゴの視認性・可読性を保持してください。

■ 背景色の明度*による使い分け ※グレースケールに置き換えた際のKの数値(%)を判断基準としています。



・背景色の明度がK1%~60%相当の場合



明度がK1%~60%相当の場合は基本のロゴを使用します。

・背景色の明度がK61%~80%相当の場合



明度がK61%~80%相当の場合は白抜き文字のロゴを使用します。

・背景色の明度がK81%~100%相当の場合



明度がK81%~100%相当の場合は白枠・白抜き文字のロゴを使用します。

■ 背景色の色相による使い分け

背景色の明度がK61%~80%相当の場合でも色相によって背景色とロゴの境界線がわかりにくい場合には白枠・白抜き文字のロゴを使用します。



Vロゴとの境界線がわかりにくい背景色には白枠・白抜き文字のロゴを使用します。



Vロゴの青や黄の境界線がわかる背景色には白抜き文字のロゴを使用します。



ロゴとの境界がわかりにくい背景色の例

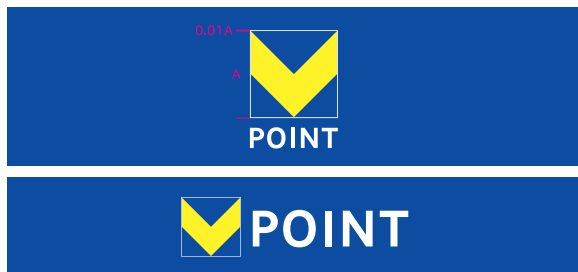


ロゴの青や黄の境界線がわかる背景色の例

背景色との関係

■ 背景色がロゴ使用色(青・黄)の近似色の場合

・背景色が「Vポイントロゴの青」の近似色の場合



背景色とVポイントロゴの青との境界線が分かりにくいため、白枠・白抜き文字のロゴを使用します。

・背景色が「Vポイントロゴの黄色」の近似色の場合



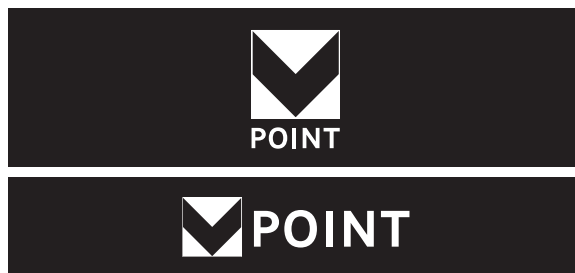
背景色とVポイントロゴの黄との境界線が分かりにくいため、青枠のロゴを使用します。「POINT」の文字はK100%です。

単色ロゴを使用する際の注意点

■ モノクロ印刷の場合

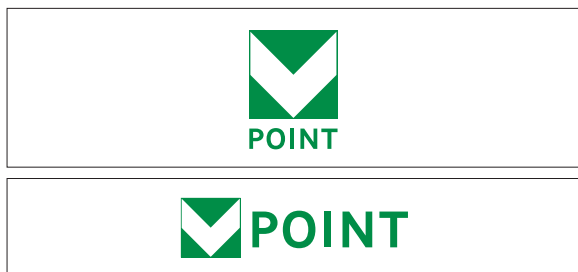


背景色がK0%～60%の場合はK100%の単色ロゴを使用します。



背景色がK61%～100%の場合は白抜きの単色ロゴを使用します。

■ 1色／2色／3色の場合



例：緑・白の2色インクでの表現

背景色が白の場合は緑の単色ロゴで、背景色が緑の場合は白の単色ロゴで表現します。2色印刷、3色印刷でもロゴはいずれか1色のみで表現します。


※ただし、Vポイントロゴ指定の3色での特色3色印刷の場合はVポイントロゴを3色(カラーロゴ)で表現します。

※使用を禁止している色は特にありません。



Vポイントロゴの禁止事項

大きさ・位置関係

Vロゴ()と「POINT」の大きさ、位置関係は固定です。分離して使用することは禁止です。



× 「POINT」が大きい。



POINT



POINT

× Vロゴと「POINT」の間隔が広い。

天地・左右比率

天地・左右の比率を変えて拡大・縮小しないでください。



× 左右比率が正しくない



× 天地比率が正しくない

POINT

ロゴデータの加工

ロゴデータ自体の加工は禁止です。



× アウトライン表示



× 縁取り



× 指定色以外でのカラー



× 影表示



× 切り離し



× 傾斜



× 縦組



× ロゴ上への装飾



× 英語表記以外の表記への変更



× ロゴに自由なフチをつける



× ロゴまわりをぼかす、発光させる



× 白枠ロゴにさらにフチをつける

正式なサービス名称表記

サービス名称の表記

サービス名を日本語の打ち文字で表記する場合、下記ルールに基づき正しく表記してください。

Vポイントの「V」は半角表記です。但し、デザイン上においては、フォントのバランスに合わせて全角も可とします。

■ Vポイントの表記

Vポイント

V POINT ※


※以下の場合に限る
 ・英文中で使用する場合
 ・英語でのキャッチコピーとして使用する場合
 ・英語の他社表記と組み合わせて使用する場合
 ・海外メディアなど英文中では「V point」表記も可

V ポ イ ン ト

禁止表記

× vポイント
 「v」が小文字のため。

× V-ポイント
 ハイフンは不要。

×  ポイント
 「Vロゴ」をテキスト表記と組み合わせて使用してはならない。

× V-POINT
 ハイフンは不要。

× ブイポイント
 「V」はアルファベット以外の表記をしてはならない。

■ Vポイントが貯まる表記

Vポイントが貯まります。

 POINT が貯まります。

 が貯まります。
 POINT



が貯まります。

Vポイントが貯まります。

禁止表記

× 
 P
O
I
N
T
が
貯
ま
り
ま
す。

ロゴの変形は不可。

ポイント数の表記

ポイント数の表記(○ポイント)

■ 推奨表記

Vポイントロゴと
数字の高さを揃える



Vロゴと数字の
高さをそろえる



Vロゴと数字を下揃え




Vロゴと数字の
高さをそろえる



禁止表記

× 5  POINT

×  × 5ポイント

×  5VPOINT

×  5POINT

× 5  ポイント

×  5Vポイント

× 5ポイント × 

×  5PT

×  5P

※システム設計などの理由により、
表記が難しい場合に限り使用可。

■ 推奨以外の表記

Vポイント5ポイント

Vポイント5pt

※pt表記は小文字。

同一面上にVポイントロゴ、またはテキストで「Vポイント」など正式なサービス名称が記載されている場合は以下表記が可能です。

同一面上では「ポイント」または「pt」のどちらかに統一してください。英文の場合は「points」表記が可能です。

また、媒体やデザイン表現などに合わせてポイント数の縦表記も可能です。

ただし、システムの設計などの理由で「ポイント」「pt」表記が難しい場合は「P」の使用も可とする。

5ポイント

5pt

※pt表記は小文字。

5 ポ イ ン ト

5^p_t

※pt表記は小文字。

禁止表記

× V5ポイント

× Vポイント5PT

× 5Vポイント

× 5×Vポイント

× 5PT

× Vポイント5P

× 5P

※システム設計などの理由により、
表記が難しい場合に限り使用可。

ポイント数の表記

ポイント数の表記(○倍)

■ 推奨表記

Vポイントロゴと
数字の高さを揃える



Vロゴと数字の
高さをそろえる



Vロゴと数字を下揃え



Vロゴと数字の
高さをそろえる



禁止表記

×  POINT×2

×  POINT×2倍

× 2倍  POINT

■ 推奨以外の表記

Vポイント2倍

同一面上にVポイントロゴ、または「Vポイント」など正式なサービス名称が記載されている場合は以下表記が可能です。

ポイント2倍

禁止表記

× Vポイント×2

× 2倍V

× V2倍

× Vポイント×2倍

× 2倍Vポイント

× 2倍ポイント

2 用語規定

Vポイント 用語規定

Vポイント 用語規定

Vポイント用語規定

管理 NO	カテゴリ	正式名称	N G呼称	備考
1	Vポイントが貯まるカード（Vポイントが貯まるカードの総称）		Vポイントが貯まるカード	
2		Vポイントが貯まるカード（プラスチックのカード）	Vポイントカード	Vカード
3		モバイルVカード（アプリから使うカード）	モバイルVカード	・モバV ・モバイルVポイントカード ・英語表現領域に限り「MOBILE V CARD」も可
4		モバイルVカードの利用登録	モバイルVカードの登録	
5				
5	アライアンス 種別	アライアンス	Vポイント提携先	
6		リアルアライアンス	・Vポイント提携先 ・Vポイント提携店	
7		エリアアライアンス	・Vポイント提携先 ・Vポイント提携店 ・街のお店	
8		海外アライアンス	・Vポイント提携先 ・海外のお店	
9		ネットアライアンス	Vポイント提携先	
10		メーカーアライアンス	Vポイント提携先	
11	Vポイント		Vポイント ※「V」は半角英字	英語表現領域に限り「V POINT」を使用可とする。（VとPOINTの間は半角スペース） ・英語表記は以下の場合に限る ・英文中で使用する場合 ・英語でのキャッチコピーとして使用する場合 ・英語の他社表記と組み合わせで使用する場合 ・海外メディアなど英文中では「V point」表記も可（Vとpointの間は半角スペース） （※1）「Tポイント」であることを明確に記載する必要がある場合のみ、「Vポイント（旧名称：Tポイント）」と表現可。使用期限は2025年3月31日までとする。
12		Vポイント（SMBCグループ限定）	Vポイント（SMBCグループ限定）（※1）	SMBCグループサイトやVポイントサイトで活用する表現。 SMBCグループが発行する「Vポイント」を指す。 （※1）「SMBCグループのサービスで貯めたVポイント」 「2024年4月22日以前にSMBCグループのサービスで貯めたVポイント」も可
13		ストア限定Vポイント	ストア限定Vポイント	主にVポイントサイト等で活用する表現。 利用先・期間が固定されたポイントを、 総称して 表現する場合、「ストア限定Vポイント」を使用する。 ※提携先様が自社のポイントを表示する場合は、次の欄の「●●限定Vポイント」をご使用ください。 ※期間が固定（限定）されたポイントであること、または有効期限を同一紙面・画面上に明記すること。
14		●●限定Vポイント	●●限定Vポイント	主に提携先さまサイトやレシート等で活用する表現。 利用先・期間が固定されたポイントを、 利用先ごとに表現する場合 に使用する。 ※●●には、取り決めた利用先の屋号・サービス名が入ります。 ※期間が固定（限定）されたポイントであること、または有効期限を同一紙面・画面上に明記すること。 なお、以下2つの条件に合致する場合は、例外として「●●（サービス名）ポイント」と表記可とする。 ① 該当の提携先がVポイント以外のポイントサービスを導入していない ② 該当の提携先の「全サービスで利用できるポイント」ではなく、「一部サービスのみで利用できるポイント」である （具体例：SMBCグループが提供するANAカードのサービスのみ利用できる「ANA限定のストア限定ポイント」は「ANAマイレージ移行可能ポイント」と表記可）
15	ポイント変動	付与	貯める/貯まる/付与	・購買や決済等でポイントを増やすことを「ポイント還元」と表記可。 ・「ポイント還元」を指していることがわかる場合、「還元」のみでも表現可。 （例：同一紙面上にVポイントロゴがある、同一紙面上に正しい表記「ポイント還元」が複数ある場合など） ・キャンペーンの注釈など、「貯める」「貯まる」「付与」では説明が難しい場合は以下を可とする。 「プレゼント」、「進呈」、「獲得」、「加算」 ・決済手段問わず、お会計金額の一部をポイントでお戻し（ポイント付与）するキャンペーンの場合は、「ポイントバック」と表現可。
16		利用（旧ポイント還元）	使う/使える/利用する	・キャンペーン等の注釈の場合に、「減算」の表現をすることは可とする。 例）即時にお持ちのポイントから減算されます。 減算されたVポイントは、Vポイント募金として寄付されます。
17		交換	交換/交換する	ポイント交換契約を締結したアライアンスのサービスに使用。（例：Vポイントへの交換）

Vポイント 用語規定

Vポイント用語規定

管理 NO	カテゴリ	正式名称	NG呼称	備考
18	ポイント表記	・100ポイント ・Vポイント100ポイント ・100pt	・100Vポイント ・100PT ・Vポイント100PT	・ポイントの大文字表記「PT」は不可とする。 ・同一紙面上の表記は「ポイント」「pt」いずれかに統一する。 ・システム設計上の理由などで、「ポイント」「pt」の表記が難しい場合は、「P」の使用も可とする ・「Vポイント」と記載しない場合は同一紙面上にVポイントロゴ必須。
19	合計ポイント表記（キャンペーン時）	・合計 ・最大	総額	・「総額」というワードは貨幣をイメージさせるため、不可 ただし、総額1000万円以上のキャンペーンに限り、総額〇〇円相当のポイント という表現は可
20	ポイントレート表記(使う)	・1ポイント＝1円分 ・1ポイント＝1円相当（※1）	1ポイント＝1円（分が入っていない）	・チラシ等に記載する場合の表現は以下とする。 例）貯まったポイントは、「1ポイント＝1円分」としてお使いいただけます。 （※1）三井住友カードの支払いへのポイント充当、景品交換が含まれる表現の場合は、1円分/1円相当のどちらも使用可。
21	ポイントレート表記(VポイントPayアプリへのチャージ)	・1ポイント＝1円		・「VポイントPay」においては「1ポイント＝1円」と表記可（ポイントではなくチャージしたバリュを表すため）
22	ポイント呼称	・ボーナスポイント ・特典ポイント ・キャンペーンポイント ・クレジットポイント	・ボーナスVポイント ・特典Vポイント ・キャンペーンVポイント ・クレジットVポイント	・文脈により、以下のような表現はOK。 例）ボーナスポイントとしてVポイント100ポイントが付与されます。
23	ポイント倍付（キャンペーン時）	・ポイントN倍 ・VポイントN倍	・Vポイント×N ・N値V ・VN倍 ・Vポイント×N倍 ・N倍Vポイント ・N倍ポイント	キャンペーンにおいて、「ポイントN倍」と「ポイント〇%還元」はどちらを使用しても可。 ▼推奨表記は以下 決済手段に関わらずお買い物で貯まるポイントは「ポイントN倍」 決済で貯まるポイントは「ポイント●%還元」
24	ポイント還元率（キャンペーン時）	・ポイント〇%還元 ・Vポイント〇%還元	・Vポイント×N%還元 ・N%還元V ・VN%還元 ・Vポイント×N%還元 ・N%還元Vポイント ・N%還元ポイント	キャンペーンにおいて、「ポイントN倍」と「ポイント〇%還元」はどちらを使用しても可。 ▼推奨表記は以下 決済手段に関わらずお買い物で貯まるポイントは「ポイントN倍」 決済で貯まるポイントは「ポイント●%還元」
25	ポイントの統合 （ネット専用会員番号もしくはVポイント口座（●●）Vポイントのおまとめ限定）のポイントを統合）			・Vポイントサイトでネット専用会員番号もしくはVポイント口座（●●限定）のポイントをV会員番号へ統合すること し例：食ベログ会員登録（＝食ベログ限定ポイントが貯まる）→ 食ベログVポイント 利用手続き（食ベログ限定ポイントから通常のVポイントに変更） ・ポイントが1つにまとまることの補足説明として「合算」を使って可 （例：Vポイントが合算されお使いいただけます）
26	ポイントの統合 （移行元が有効な「Vポイントが貯まるカード」のポイントを統合）	Vポイント移行手続き		・Vポイントサイトで有効な「Vポイントが貯まるカードA」→「Vポイントが貯まるカードB」へポイントを移動すること ・ポイントが1つにまとまることの補足説明として「合算」を使って可 （例：Vポイントが合算されお使いいただけます）
27	ポイントの統合 （磁気不良等で新しい「Vポイントが貯まるカード」にポイントを統合）	ポイント引き継ぎ		・コールセンター等で実施している「Vポイントが貯まるカードA」→「Vポイントが貯まるカードB」へのポイント移行は「ポイント引き継ぎ」という ・ポイントが1つにまとまることの補足説明として「合算」を使って可 （例：Vポイントが合算されお使いいただけます）
28	保有ポイント	・保有Vポイント ・お持ちのVポイント（※1）	・Vポイント残高 ・Vポイント残数	・「残数」「残高」というワードは貨幣をイメージさせるため、不可 ・「VポイントPay」においては「VポイントPay残高」と表記可（ポイントではなくチャージしたバリュを表すため） （※1）以下の場合は「保有ポイント」「お持ちのポイント」と表記可 ・Vポイント以外の他社ポイントも含めて表現する場合 ・文字数制限などの理由で正式名称の表記が難しい場合
29	付与レート/付与率	付与率		・推奨は「付与率」（ポイントサービス利用規約上の表現に合わせる）だが、「付与レート」と表記しても可
30	利用レート/利用率	利用率		・推奨は「利用率」（ポイントサービス利用規約上の表現に合わせる）だが、「利用レート」と表記しても可
31	交換レート/交換率	交換率		・推奨は「交換率」だが、「交換レート」と表記しても可
32	ポイント履歴	ポイント履歴	Vポイント履歴	同一ページ上で「Vポイント」のロゴやサービス説明がある場合など、Vポイントの履歴であることが明らかに分かる場合は「ポイント履歴」と省略しても可
33	提供サービス	POSクーポン	レシートクーポン	POSクーポン
34		Vポイントサイト（旧Tサイト【Tポイント/Tカード】）	Vポイントサイト	・ブイポイントサイト ・Vサイト
35		Vポイントアプリ（旧Tポイントアプリ）	Vポイントアプリ	旧Tポイントアプリ

Vポイント 用語規定

Vポイント用語規定

管理 NO	カテゴリー	正式名称	NG呼称	備考
36		VポイントPayアプリ（旧Vポイントアプリ）	VポイントPayアプリ	旧Vポイントアプリ
37	V会員（旧T会員）	V会員	・Vカード会員 ・Vポイント会員 ・ポイントカード会員	
38	入会方法	ID連携	Vポイント利用手続き（※1） V会員限定サービス利用手続き（※2）	（※1） ・以下のような表現を推奨とする。 例）Vポイントを貯めるには、Vポイント利用手続きが必要です。 ・Vポイント利用手続きを説明する文脈では「ID連携」の記載可 （※2） アプリでVポイントの付与が無い場合のID連携は、「V会員限定サービス利用手続き」と表現する
39		ID連携（SMBCグループ）	●●と●●とのID連携	例） V会員番号（旧名称：T会員番号）とSMBCグループのIDを連携すると、Vポイント（旧名称：Tポイント）とSMBCグループで貯めたVポイントをまとめて管理・利用できます。
40	ポイント口座	V会員番号（旧T会員番号）	V会員番号	・会員番号

3 制作表現規定

ブランドカラー

推奨フォント

シンボルのグラフィック表現

Vキューブのデザイン表現

Vメダルのデザイン表現

Vキューブ・Vメダルの動画表現

制作表現の禁止事項

モバイルVカード表現規定

CM用Vカード・Vポイントロゴ使用規定

ブランドカラー

ブランドカラー

ブランドカラーとは、特定の色や配色だけでブランドの世界観を訴求することのできるイメージカラーです。
ブランドの世界観を訴求する場合はブランドカラーを基調にデザインすることを推奨します。

■ メインカラー



DIC 2539 / Y90%



DIC F43 / C100% M80%



White

■ サブカラー



DIC 2197 / C3% K7%



BLACK / K100%

ブランドカラーを使ったデザインの表現例



推奨フォント

推奨フォント

Vポイントのブランドロゴと調和する推奨フォントは下記です。

下記に限らず、キャンペーンのテーマやイメージを効果的に補足するフォントも使用可能です。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789+!=&

Helvetica Regular トラッキング0pt

あいうえおかきくけ
愛のユニークな書体
0123456789+=

ゴシックMB101 M トラッキング0pt

あいうえおかきくけ
愛のユニークな書体
0123456789+=

リュウミン M トラッキング0pt

Vポイントのブランドイメージ、キャンペーンのテーマやイメージと調和しないフォントは使用をしないでください。

ブランドイメージやキャンペーンイメージと調和していない例



✕ Vポイントのブランド
イメージと手書き系の
フォントが調和していない

✕ Vポイントのブランド
イメージと勘亭流系の
フォントが調和していない

✕ Vポイントのブランド
イメージと行書系の
フォントが調和していない

✕ Vポイントのブランド
イメージとPOP系の
フォントが調和していない

シンボルのグラフィック表現

シンボルのグラフィック表現の使用目的

Vポイントを象徴的に表現したい場合や、わかりやすく伝えることを目的に、補足イメージとして、VロゴやVキューブ、Vメダルを使用することができます。使用する際は、使用条件、禁止事項を守るほか、ルールに基づき正しく表記してください。



Vロゴ



Vキューブ



Vメダル

印刷媒体・デジタル媒体(Webなど)の表記

告知を行う各種サービス/媒体/商品のロゴもしくはテキスト表記のいずれかを同一面上に配置してください。デジタル媒体の場合は、必ずロゴもしくはテキスト表記のいずれかを同一領域内に配置してください。

■ Vポイントロゴ



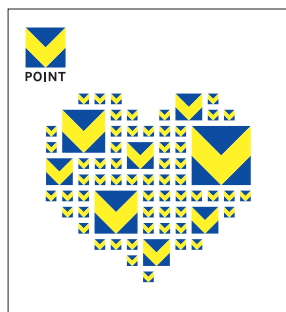
■ テキスト表記



Vポイント

V
ポ
イ
ン
ト

使用例



○ 使用可能



○ 使用可能



○ 使用可能

✕ Vポイントロゴまたは、
テキスト表記がないため不可

立体物・映像などの表記

Vポイントのロゴもしくはテキスト表記のいずれかを制作物内に配置するか、ナレーション等でサービス名称を告知してください。デザインや動画の動き・内容については、ブランドイメージを損なわないように表現します。都度確認が必要です。

使用例：Vキューブを持っているフィギュア、Vキューブを持っている人の写真、Vキューブが動くCMなど（VロゴやVメダルも同様）

Vキューブのデザイン表現

Vキューブのデザイン表現

Vキューブは、かたちのないサービスを視覚的に分かりやすくアイコン化したモチーフであり、表現の幅が広がるように自由度を広く設けています。



Vキューブ

Vキューブを使ったデザインの表現例



■ ワード（表記・ナレーション）、デザイン（印刷・Web・動画）における禁止表現

Vキューブを「Vポイント」の名称やロゴとして表記する

VキューブをVポイントと読ませてはいけません。

×  貯まります。

■ デザイン（印刷・Web・動画）における禁止表現



Vキューブの色を変える

Vの比率を変える

キューブの比率を変える

Vキューブに目・鼻・口をつけて擬人化する

著しくVのクリエイティブトーン&マナーとかけ離れた表現

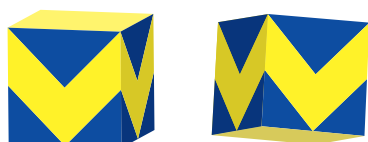
破壊、燃やす等ブランド棄損につながる表現

Vキューブとして認識できない加工表現(比率/画像処理など)

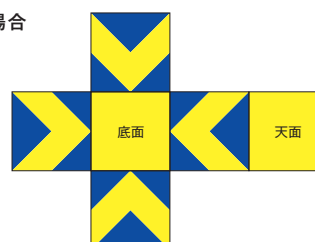
同一画面上に異なるデザインタッチのVキューブや側面のデザインが異なるVキューブが混在する

■ Vキューブの立体物を表現する場合、全ての側面がVロゴ、天面・底面が黄色1色となっている形状のキューブを展開してください。

※キューブでみた場合



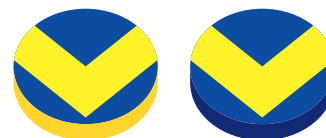
※展開図でみた場合



Vメダルのデザイン表現

Vメダルのデザイン表現

Vメダルは、かたちのないサービスを視覚的に分かりやすくアイコン化したモチーフであり、表現の幅が広がるように自由度を広く設けています。



Vメダル

Vメダルを使ったデザインの表現例



■ ワード(表記・ナレーション)、デザイン(印刷・Web・動画)における禁止表現

Vメダルを「Vポイント」の名称やロゴとして表記する

VメダルをVポイントと読ませてはいけません。

×  貯まります。

■ デザイン(印刷・Web・動画)における禁止表現



Vメダルの色を変える



Vを複数いれる



Vの比率を変える



変形や他のモチーフを追加する

Vメダルに目・鼻・口をつけて擬人化する

著しくVのクリエイティブトーン&マナーとかけ離れた表現

破壊、燃やす等ブランド棄損につながる表現

Vメダルとして認識できない加工表現(比率/画像処理など)

同一画面上に異なるデザインタッチのVメダルや側面の色味が異なるVメダルが混在する

Vキューブ、Vメダルの動画表現規定

動画での表現における考え方

Vポイントのロゴもしくは名称テキストを制作物内に表記してください。(ナレーションも含む)

デザインや動画での動き・内容については、ブランドイメージを損なわないように表現します。そのため、確認は都度必要になります。

動画においては表現の幅が広いので、動きの中で瞬間的にシンボルが変形する場合も認めます。

動画のストーリーの文脈によって異なりますが、①もしくは②のいずれかの条件を必ず守ってください。

条件① はじまりと終わり共に「ブランドシンボル」を正しい形状で使用する

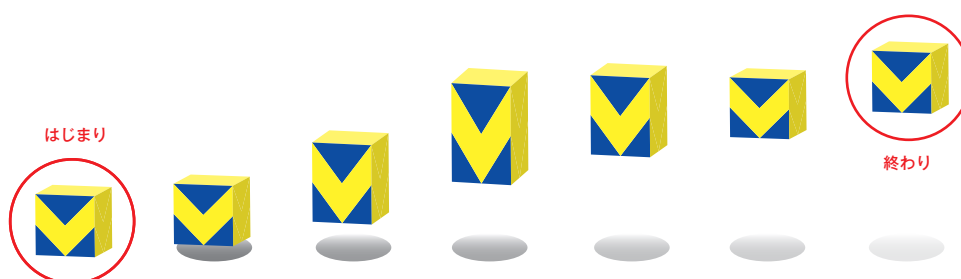
条件② はじまり、もしくは終わりいずれかの「ブランドシンボル」を正しい形状で使用する

■ 条件①の例

Vキューブが上に伸びて、ジャンプする動き (Vメダルも同様)

はじまりと終わりに共に「ブランドシンボル」を正しい形状で使用する

はじまり → 終わり

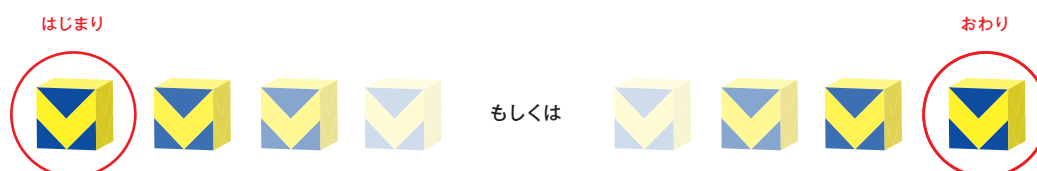


■ 条件②の例

Vキューブが消えていく／Vキューブが出現 (Vメダルも同様)

はじまり、もしくは終わりいずれかの「ブランドシンボル」を正しい形状で使用する

はじまり → 終わり



動画は表現の範囲が広いので細かい全ての規定が出来ません。

そのため、モチーフを扱う際の考え方について事前に正しくご理解いただいたうえ制作いただき、修正可能なタイミングで確認が必要です。

※使用する対象やその時々々の風潮によって、また、ブランド観点で効果的・魅力的だと判断した表現においてはこの限りではありません。

制作表現の禁止事項

禁止事項

CCCMKホールディングス以外がVポイント・Vロゴを直接表現する造語や、サウンドロゴ、キャッチコピー、ブランドスローガンの制作は不可。

■ ワード(表記・ナレーション)、デザイン(印刷・Web・動画)における禁止表現

ワード(表記・ナレーション)	デザイン(印刷・Web・動画)
<ul style="list-style-type: none"> ✕ 「Vポイント」以外の言い方、表記(Vのポイント等) ✕ 極端に聞き取りにくいと判断した場合(イントネーション、発音) ✕ 貨幣を直接想起させる表現^{※1} 	<ul style="list-style-type: none"> ✕ ロゴやキューブの色を変える ✕ ロゴやVキューブ・Vメダルに目、鼻、口、手足をつけて擬人化する ✕ 貨幣を直接想起させる表現^{※1} ✕ 著しくVのクリエイティブトーン&マナーとかけ離れた表現(イラスト/BGM/衣装等) ✕ 破壊、燃やす等ブランド棄損につながる表現 Vポイントロゴとして認識できない加工表現(比率、画像処理など)

※1「Vポイントが貯まるイメージ」を表現する際、貨幣を直接想起させる表現は使用できません。シンボルを使った表現を推奨します。

貨幣を直接想起させる表現例	
<p>ワード(表記・ナレーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✕ 一攫千金 ✕ 総額[※] ✕ Vポイントで株を買う <p>※1,000万以上のキャンペーンに限り可</p>	<p>デザイン(印刷・Web・動画)</p>  <p>ポイントのP、VポイントのV 提携先様のブランド名およびサービス名の イニシャルを使ったコイン</p> <p>その他過剰な演出</p> <p>※複数の共通ポイントを導入している場合、他社ポイントと合わせてコイン表現が必要な場合は使用できます</p>

シンボルを使った「Vポイントが貯まるイメージ」の表現例		
<p>Vポイント貯まる!</p> 	<p>POINT</p>  <p>Vポイント 貯まる!</p> 	<p>POINT 貯まる・使える</p> 

不適切な表現

- ・法律、条例、条約、校正競争規約に違反、またはその恐れがあるもの
- ・事実と反する、あるいは根拠の不明確な表現
- ・政治、風評等の表現
- ・政治思想を表明することを目的に使用する場合の表現
- ・他人の著作権などの知的財産権および著作権人格権を侵害する、または侵害する恐れがあるもの
- ・社会秩序を乱したり、犯罪的行為に結びつく、または犯罪を誘発する恐れがあるとCCCMKホールディングス株式会社(以下、MKHDとする)で判断したもの
- ・一般的に不快と感じられる表現であると両社ブランド委員会が判断したもの
- ・ユーザーにネガティブなイメージを与える可能性があるとMKHDが判断したもの
- ・性的な連想をさせる、もしくはブランドイメージを低下させるとMKHDが判断したもの
- ・その他、MKHDが不適切と判断したもの

モバイルVカード表現規定

モバイルVカードのデザイン表現

モバイルVカードを利用するサービスを表示する際、
下記のようにイラストや写真で効果的に訴求することができます。

告知物にてご利用いただける素材を別途ご用意しております。
CCCMKホールディングス担当者までお問い合わせください。



モバイルVカード

モバイルVカードを使ったデザイン表現例



■ ワード(表記・ナレーション)、デザイン(印刷・Web・動画) における禁止表現

モバイルVカード以外の言い方、表現
(モバV/モバイルV/デジタルVカード)

✕ モバVを提示してください。

極端に聞き取りにくいと判断した場合
(イントネーション、発音)

✕ モバVが使えます。

※26ページ「モバイルVカード表現規定 サービス名称の表記」もご参照ください

■ デザイン(印刷・Web・動画) における禁止表現

モバイルVカードの提供素材を改変して利用する

モバイルVカードに目・鼻・口をつけて擬人化する

著しくVのクリエイティブトーン&マナーとかけ離れた表現

破壊、燃やす等ブランド棄損につながる表現

モバイルVカードとして認識できない加工表現(比率/画像処理など)

誤解を与える機能・サービスの表現

※CCCMKホールディングスまたは三井住友カードが主催する施策等で、ブランド価値・ブランドイメージ向上を目的とした訴求においては、協議の上、表現を決定する場合があります。

モバイルVカード表現規定

サービス名称の表記

サービス名を日本語の打ち文字で表記する場合、下記ルールに基づき正しく表記してください。

モバイルVカードの「V」は半角表記です。但し、デザイン上においては、フォントのバランスに合わせて全角も可とします。

■ モバイルVカードの表記


モバイルVカード

MOBILE V CARD ※

- ※以下の場合に限る
- ・英文中で使用する場合
 - ・英語でのキャッチコピーとして使用する場合
 - ・英語の他社表記と組み合わせて使用する場合
 - ・海外メディアなど英文中では「mobile V card」表記も可

モバイルVカード

禁止表記

- × **モバV／モバイルV**
省略して表記をしてはならない。
- × **モバイル Vカード**
「モバイル」と「Vカード」の間はあけてはならない。
- × **モバイルvカード**
「v」が小文字のため。
- × **モバイル  カード**
「Vロゴ」を「V」として使用してはならない。
- × **モバイルブイカード**
「V」はアルファベット以外の表記をしてはならない。

MOBILE V CARD

ロゴ縦組表記は不可。

CM用Vカード・Vポイントロゴ使用規定

放送局の基準でのロゴ表記の例外

CM等でVカード・Vポイントロゴを使用する際は、原則としてロゴの加工をせず使用してください。
ただし提供ロゴや番組映像でのロゴ表現に限り、放送局の基準に準じてロゴにフチ等の加工をすることが可能です。
カラーロゴを優先的に使用し、カラーでの表現が難しい場合は単色ロゴを使用してください。

■ カラーロゴ カラーロゴを優先して使用してください。



■ 単色ロゴ カラーロゴの使用が難しい場合に使用してください。



ロゴデータの加工

放送局の基準に準じてロゴに加工をすることが可能です。

■ カラーロゴの使用例（あくまで例です。必ず放送局の基準で加工してください。）※①②③④は推奨優先順位



①ロゴの下にザブンをひく



②ロゴに白フチをつける



③ロゴに影をつける



④ロゴに黒フチをつける

■ 単色ロゴの使用例（あくまで例です。必ず放送局の基準で加工してください。）※①②③④は推奨優先順位



①ロゴの下にザブンをひく



②ロゴに白フチをつける



③ロゴに影をつける



④ロゴに黒フチをつける

■ 単色ロゴの場合でロゴに指定色がある場合の例 ※都度確認が必要です。

